

鳩山町子ども読書活動推進計画策定に係る

ヒアリング調査実施報告

令和7年2月

鳩山町教育委員会事務局(図書館)

[目 次]

1.	調査の目的	1
2.	調査の実施方法等	1
3.	ヒアリング調査結果一覧(団体)	2
4.	ヒアリング調査結果一覧(児童・生徒)	5
5.	ヒアリング調査における分析	8

1.調査の目的

鳩山町子ども読書活動推進計画策定にあたり、町内の幼稚園、保育園、学校等における子どもの読書活動に関する現状や課題、今後の方向性、ご意見等を把握し、計画策定に反映することを目的として実施しました。

また、子ども基本法第11条において、「子どもに対する施策を策定するにあたっては、施策の対象となる子どもの意見を聴取して反映させるために必要な措置を講ずること」となっており、アンケートとは別に児童、生徒に対しても読書活動に関する現状や課題、今後の方向性、ご意見等を把握するためにヒアリング調査を実施しました。

2.調査の実施方法

調査対象	①鳩山幼稚園 ひばり保育園 ひばりゆりかご保育園 亀井小学校 今宿小学校 鳩山小学校 鳩山中学校 鳩山高等学校 鳩山町子育てアドバイザー 鳩山町PTA連絡協議会 ②小学校、中学校における図書委員会等
調査方法	①事前に調査票を送付し、ヒアリング又は書面で回答とした。なお、ヒアリングの場合は、具体的な調査日時等は調整の上、個別に決定した。 ②事前に調査票を送付し、図書委員会等に図書館職員がヒアリングを実施した。
調査実施期間	令和6年12月10日(火)～令和7年1月31日(金)

3 ヒアリング調査結果一覧（団体）

団体名	（１）貴団体の活動を行ううえで、子どもの読書に対する課題などがありますか。	（２）日ごろの生活のなかで、鳩山町ではどのような子どもの読書に対する課題があると思いますか。	（３）これらの課題解決のために、どのような解決方法があると思いますか。また、貴団体として何か取り組まれていること、何か取り組めることはありますか。	（４）鳩山町の子どもの読書に関する取り組みを充実するためのご意見、ご提言等があればご記入ください。
鳩山幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書が古い。状態も悪い。 園の図書費が少額である。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の場所が自宅から遠いと自力ではなかなか行けない。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館との連携で毎学期50冊、貸し出しをしてもらっている。 幼稚園バスを使って図書館訪問をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動図書館がほしい。 図書館の駐車スペースが狭く、入りにくい。
ひばり保育園	<ul style="list-style-type: none"> 家庭ではYouTubeなどの動画を見ることが多くなっているため、温かな内容の絵本や紙芝居を保育士の肉声での読み聞かせで行うことを意識して実施している。 	記載なし	記載なし	記載なし
ひばりゆりかご保育園	<ul style="list-style-type: none"> 園生活の中で、絵本に親しむ時間を多く持つように努力している。 教育的な内容よりもお話の世界を大切にしたい。 絵本の物語をごっこ遊びで表現し、より絵本を身近に感じていけるようにしている。 すぐ手の届くところに絵本をたくさん（種類、冊数）置くようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童、園児が本に触れあう時に保護者も読書が好きであって欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者へ絵本読みの良さを伝えるようにし、子ども達の好きな絵本の紹介もしている。 	記載なし
亀井小学校	<ul style="list-style-type: none"> 読書のための時間の確保が難しい。 子どもの活字離れ。 読みたい本が学校にない。 新着本が少ない（予算の都合上） 	<ul style="list-style-type: none"> 町立図書館の小・中学生の利用が少ない。固定化。 	<ul style="list-style-type: none"> 町立図書館と連携し、移動図書を行う。 授業で活用できる本を複数導入する。 図書室の掲示の工夫（行事や季節に合わせて） 学年ごとに図書室利用の時間を割り当てる。 読書マラソンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への町立図書館利用を促す呼びかけ
今宿小学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校で朝読書、読み聞かせの時間等設定し、本に親しむ努力をしているが、なかなか読書量が増えない傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 時代の流れなのか、他のお稽古事や流行しているものに、興味をもっていかれてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校内での行事の精選や読書月間でのよびかけなど、委員会の児童の協力をもらい、読書のよびかけをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 町立図書館のデジタル図書にも興味をもてるように学校内でも宣伝していきたい。

団体名	(1) 貴団体の活動を行ううえで、子どもの読書に対する課題などがありますか。	(2) 日ごろの生活のなかで、鳩山町ではどのような子どもの読書に対する課題があると思いますか。	(3) これらの課題解決のために、どのような解決方法があると思いますか。また、貴団体として何か取り組まれていること、何か取り組めることはありますか。	(4) 鳩山町の子ども読書に関する取り組みを充実するためのご意見、ご提言等があればご記入ください。
鳩山小学校	<ul style="list-style-type: none"> 読書に充てる時間の設定が少ない。 図書が古くなっている。修理をしているがおいつかない。(ボランティアを募集している。活動についてが今後の課題) 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は利用するが、絵者順に絵本が並んでいるので、なれないと探しにくい。子どもが探せているならばよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書週間におすすめの本のポスターを作って掲示した。 読書貯金カードを行っている。 図書委員がおすすめ児童書の読み聞かせを(児童に対して)行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校と連携をすることで子どもの読書に関する取り組みが充実すると思う。 学級文庫を貸し出してくれるのはとてもよいことだと思います。 職員さんが図書指導に(ブックトーク、すばなし、ペープサートなども含めて)来ていただいたりして、児童と顔見知りになるのもよいかなと思います。
鳩山中学校	<ul style="list-style-type: none"> 本を読むことが少ない生徒にいかん、読書を習慣化させていくかが課題。 普段、本を読んでいる生徒と読んでいない生徒の差が大きい。 読書経験の少ない生徒は、自分で自分にあった本を選ぶスキルがないので、活字に触れさせる機会をいかに創出していくかが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳩山町では、読書に取り組んでいこうという姿勢があると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 鳩山中学校では、朝読書を毎朝10分行っている。 長期休業時には、貸出期間を長く設定した特別貸出を行っている。 30冊読書を達成した生徒は校長から表彰される。 授業との連携を図り、国語の授業時などでは作家に関する本を調べたり、四字熟語を調べたりするときに図書室を利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。
鳩山高等学校	<ul style="list-style-type: none"> バス待ちの時に(学校)図書館に来るということはあるが、借りていく生徒はあまりいないのが現状です。漫画を読む生徒がほとんどで、他ジャンルの本を読む生徒は少数です。 まずは(学校)図書館に関心を寄せてもらい来館を促すことが課題です。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校段階が進むにつれて図書館を利用する割合が減っていますので、継続的な読書環境づくりが課題だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 本校での課題解決の取り組みとしましては、リクエストに応じて生徒が読みたい本を中心に購入しています。 トランプやボードゲームを取り揃えて興味をもってもらえる工夫をしています。 図書だよりを発行し、図書館情報を発信して魅力を伝えています。 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません。

団体名	(1) 貴団体の活動を行ううえで、子どもの読書に対する課題などはありませんか。	(2) 日ごろの生活のなかで、鳩山町ではどのような子どもの読書に対する課題があると思いますか。	(3) これらの課題解決のために、どのような解決方法があると思いますか。また、貴団体として何か取り組まれていること、何か取り組めることはありますか。	(4) 鳩山町の子ども読書に関する取り組みを充実するためのご意見、ご提言等があればご記入ください。
鳩山町子育てアドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> 個人個人での読み聞かせや子供向け図書についての情報は得ているが、団体として共有できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館、学校等、様々な取り組みをされていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 団体として行政とコラボしながらの活動をできたらと考えます。 	記載なし
PTA連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが長い物語がなかなか読めない。 子どもがスマホやパソコンでYouTubeを見るようになると、それまで一人の時間に本を読んでいた時間が急に減ってしまっている。 読書好きな子どもが少ない。ゆっくりと読書をする時間や習慣が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味のある本を聞くと、書店に平積みしてあるランキング上位のビジネス系の最新版の本が読みたいようで、なかなか図書館にはなく、都度購入にも費用や整理する場所に困ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 一冊は短くてもシリーズで長編の物語を読んでもみる。 (小学生に対して) 必ず寝かしつけの時間に図書館で借りてきた本を読み聞かせるようにしている。読み聞かせの時間を楽しみにしているようである。 小学校の図書室を1階の出入りしやすい所に設置して蔵書やくつろぎ空間を充実させ、子どもや地域の大人にも放課後や土曜日にも気軽に利用できるようにする。 図書館で購入いただけるとありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが読みたくなるような今の小学生のベストセラーなど、今時の新しい本を定期的に増やして欲しいです 中学生の子どもはもしかしたら読書の時間は、朝読書の時間のみかもしれません。その時間をぜひ充実させていただけたらと思います。 親が読書をするのが大切だと感じます。親自身が本を読まずスマホばかり見ているということが多いです。これでは子どもに読書の習慣が身につくはずはありません。まずは子どもの親世代に、子どもの読書の大切さを知ってもらうことからかもしれません。

4 ヒアリング調査結果一覧（児童・生徒用）

学校名	(1) 図書館を利用する場合、どのような方法で図書館へ行くことが多いですか。	(2) どのような時に本を読みたいと思いますか。	(3) どうすれば、子ども達が、もっと本を楽しく読めると思いますか。	(4) どうしたら図書館へ子どもたちがもっと行くと思いますか。	(5) 学校などにおいて読書について何か取り組まれていることはありますか。	(6) そのほか、読書について何かありましたらあげてください。
亀井小学校	<ul style="list-style-type: none"> 親に車で連れていってもらっている（頻度的には1年に2～3回、半年に1度程度ということであった） 	<ul style="list-style-type: none"> 本屋に行ってアニメの原作や漫画など、面白そうだったとき。 家族に本をすすめられたとき。 時間があるときや寝る前によみたいと思う。 <p>（読みたい本が決まっていれば本屋などに行くよりも、本屋や図書館、図書室で、何か面白そうな本があるかどうか探す方が多いという意見が多かった）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 低学年のうちから、おすすめ本などを紹介したり、注目されるように展示して興味をもってもらうとよいと思う。 季節に合わせたイベントをするとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館でしか楽しめない、図書館でしかできないイベントを考えてやると良いと思う。 地域の人に興味をもってもらうためにお知らせをしていくと良いと思う。 子どもたちにもっと呼びかけるとよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書マラソンを行っている。 「図書室に来るとスタンプがもらえる」という活動を実施している。スタンプが3個たまると、図書委員が作ったおりがみもらえることになっている。 月ごとにおすすめの本を展示している。 	特になし

学校名	(1) 図書館を利用する場合、どのような方法で図書館へ行くことが多いですか。	(2) どのような時に本を読みたいと思いますか。	(3) どうすれば、子ども達が、もっと本を楽しく読めるとと思いますか。	(4) どうしたら図書館へ子どもたちがもっと行くと思いますか。	(5) 学校などにおいて読書について何か取り組まれていることはありますか。	(6) そのほか、読書について何かありましたらあげてください。
今宿小学校	<ul style="list-style-type: none"> 親に車で連れていってもらっている 9人 自分でいく 3人 (頻度的には2週間に1回や1か月に1回行くという意見が多かった。) 	<ul style="list-style-type: none"> 本屋や図書館で自分に合う本や、おもしろそうな本をみつけたとき。 友だちにすすめられたとき 親が読んでいる本がおもしろそうだったとき 時間があいているときに読む(むりやり時間を作るときもある) アニメや映画、ゲームの原作や関連する本を読みたいと思う。 雑誌や新聞などで紹介されておもしろそうだったとき。 やることがないとき。 きまぐれ 表紙や内容が面白いものを見つけた時。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館員のおすすめの本を紹介する。 高学年向けの本スペース、低学年向けの本スペース、小さい子向けの本スペースなどを用意する。 本の内容を短くする。 本を3冊読んだらしおりなどの特典をもらえるようなイベントを開く。 町の人が読み聞かせをする。読み聞かせのイベントを積極的に行う。 おすすめの本を大きく見せる。 本のお楽しみ袋を子ども用をもっと増やして、学年だけではなく、ジャンルを増やすとよい。 本の面白さがわかれば楽しく読めると思う。 子ども向けのイベント、行事を行う。 本の読み聞かせを子どもが行ったら、もっと図書室で本を楽しく読めると思う。 1～5年生くらいまでは絵本がよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 人形劇や指人形劇などの子ども向けのイベントをもっとやったらよいと思う。 図書館で本祭りみたいなものを行う。 本や本を読む場所を増やす キャラクターなどをつくり看板にする。キャラクターを考えてもらう。 図書館にいる間は子どもを預かるサービス 本の面白さがわかればもっと行くと思う。 10回行くごとに好きな本を予約できるようにする、本を何冊か借りるとプレゼントがもらえるなど、特典があるとよい。 目の前に子ども絵本をおく。 月ごとにおすすめの本をポスターにしてはる。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書週間に全校からおすすめの本の絵、文を書いてもらって選ばれた人がしおりをもらえる行事をおこなった。 図書委員会で塗り絵や紙芝居などに取り組んでいます。 6月に図書委員が雨の日の昼休みに紙芝居を読んだ。低学年の子をはじめ、大勢の子が楽しんでいた。 11月に図書委員が全児童の前で(読書集会)で読み聞かせを行った。また、図書室の利用についての〇×クイズ、本の一部分を読んで本を当てるクイズなどを行い、好評であった。 先生もおすすめの本を紙に書いて、廊下に貼りだし、宣伝を行っている。 	特になし

学校名	(1) 図書館を利用する場合、どのような方法で図書館へ行くことが多いですか。	(2) どのような時に本を読みたいと思いますか。	(3) どうすれば、子ども達が、もっと本を楽しく読めるとと思いますか。	(4) どうしたら図書館へ子どもたちがもっと行くと思いますか。	(5) 学校などにおいて読書について何か取り組まれていることはありますか。	(6) そのほか、読書について何かありましたらあげてください。
鳩山小学校	<ul style="list-style-type: none"> 車で親に連れて行ってもらう2人 徒歩でいく 1人 デジタル図書館を利用するのであまり行かない 1人 図書館には行かない 3人 (冬休みりようしたのは2人、夏休み利用したのは3人という回答を得た) 	<ul style="list-style-type: none"> 小説を書いているので、その題材となる本を読みたいと思う。 夜寝る前にタブレットを使って読む。 図書室や図書館などで惹かれた本を読む。 SNSでおすすめされた本が面白そうだったとき。 夕食後など、家族でのんびりしているとき。 家にいて暇な時や、することがないときなど。 (身近にある図書室や本屋には何か面白い本がないか探すことが大井。図書館には読みたい明確な本があって借りにいくことが多い、シリーズで読みたい本があるときは、明確に本を買いに行くことが多いなど、何か面白い本があるか図書室などに探しに行くか、欲しい本があって本屋などにいくのがどちらが多いかということについては、場合によりけりという意見が多数であった) 	<ul style="list-style-type: none"> 小さいころかわいい魔女の話を読んで本が好きになった。小さい子が惹かれるような本をすすめたらよいと思う。 デジタル図書の知名度が低いので宣伝するとよい。 本以外に好きなものがある人に向けて、趣味に関連付けた本を紹介したらよいと思う。 話題になたり、アニメに関連する本をすすめたらよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> イベントをもっと増やして図書館おこしをしたらよい。 もっと子ども向けの興味をもってもらえるようなチラシを配ってしてもらう。 ポスターや大きな絵などを図書館の外から見える一に貼って宣伝する。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書月間におすすめの本のリストをみんなに配ってアピールし、読んだらチェックをしてもらうことをした。 秋におすすめの本のポスターを作って掲示した。 読書貯金カードを行っている。 おすすめ児童書の読み聞かせを(児童にたいして)行った。 	<ul style="list-style-type: none"> もっとネットやSNSで宣伝したらよいと思う。
鳩山中学校	<ul style="list-style-type: none"> 親が送迎してくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本が読みたいなと思ったときに読む。 学校の図書室などで、本の表紙などを見て、面白そうだなと思ったら読む。 読みたい本があるときに図書室や本屋に行くことと、図書室などで何かおもしろそうな本がないか探すことは半々くらい。 	<ul style="list-style-type: none"> そもそも本に触れる機会が少ない。 本が身近にあればもっと読むのではないかと。 朝読書などで、タブレットなどをつかえて、デジタル図書も読めるようになれば、身近に感じる人も増えるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便が悪いので公共交通機関を利用していけるようになればいいと思う。 アニメの文庫本やライトノベルのコーナーがあれば、行く人も増えるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 年に1度の読書週間では、1番本を借りたクラスを表彰している。 毎日10分の朝読書を行っている。 30冊読んだ生徒は表彰がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし

5. ヒアリング調査における分析

鳩山町内の子どもの読書活動に関する現状や課題、今後の方向性、ご意見等を把握し、計画策定に書状況等の実態を反映するため実施した、鳩山町子ども読書活動推進計画策定に係るヒアリング調査におきましては、幼稚園、保育園、学校、子育て関連団体など 10 の団体、町内小中学校の図書委員の児童、生徒により回答をいただきました。

【団体調査項目より】

質問（１）では「貴団体の活動を行ううえで、子どもの読書に対する課題などはありますか」という設問を設定しました。

特に幼稚園、学校では「蔵書が古い」「新着本が少ない」「修理をして使用しているがおいつかない」など、資料そのものや蔵書量についての意見が寄せられました。これまでも学校等に対して図書館の蔵書を貸し出してきましたが、「学校が現在、必要としている資料」をより把握し、一層の連携が必要であることが分かります。

それに加えて子どもたちの「読書量が増えない」「子どもによって読書に対するスキルに差がある」「図書館に関心を寄せてもらうことが課題」など、児童、生徒により読書に対して差があることを課題にあげられていました。読書に対する関心を高める取り組みを図書館や学校がより連携して実施していくことが重要であることが読み取れます。

質問（２）では「日頃の生活の中で、鳩山町ではどのような子どもの読書に対する課題があると思いますか」という設問に対して、「鳩山町では読書に取り組んでいこうという姿勢がみられる」ものの「図書館が遠い」「図書館利用者の固定化」「年齢が進むにつれて図書館の利用する割合が少なくなっている」といった意見もあげられました。利用者にとって「より身近な図書館」をこれからどう創出していくかが課題であります。

質問（３）では「これらの課題解決のために、どのような解決方法があると思いますか。また貴団体として何か取り組めることはありますか」という設問を設定しました。

寄せられた意見としましては「子どもたちの好きな絵本の紹介」「図書館との連携」「図書室の掲示の工夫」「図書室の場所の設置の工夫」「読んだ冊数などに応じて子どもたちの表彰を行う「読書マラソン」や「読書貯金」の実施」「毎日の朝読書」「国語の授業などでの図書室との連携」などがあげられました。また、何よりも「子どもの親世代に、子どもの読書の大切さを知ってもらうことから始めることが重要」という意見も出ていました。これらの取り組みを参考にしながら図書館でも取り組めるものは実施し、子どもたちに本に興味を持ってもらうことと同時に、図書館の情報も今にも増して各団体に発信していきたいと考えます。

【児童、生徒対象調査項目より】

設問（１）では「図書館を利用する場合、どのような方法で図書館へ行くことが多いですか」という設問に対しては、ほぼ多数の児童、生徒が「親に車で連れていってもらおう」と答えましたが、徒歩や自転車などで「自分で行く」と答えた児童もいました。頻度としては、

親につれていってもらい少なくなり、自分でいくと答えた児童ほど、頻繁に図書館を利用していることが分かりました。

設問（2）の「どのような時に本を読みたいと思いますか」に対しては「アニメの原作など面白そうだったとき」「友だちにすすめられたとき」「SNS や雑誌などで紹介された本が面白そうだったとき」など外部の要因などが大きく関わっていることが分かりました。また、「やることがないとき」「時間があるとき」に読書がしたくなるという意見も出ました。本を読みたいなと思ったときに、すぐ本を手にとれる環境も重要であることが分かりました。

また、「何かほしい本があって、本屋や図書室などに行く」とことと「図書室や図書館などで何か面白そうな本があるのを探す」のとどちらが多いかという質問に対しては、「場合による」「どちらも同じくらい」という意見が大半を占めました。

設問（3）の「どうすれば、子どもたちがもっと本を楽しく読めると思いますか」に対しては「小さい子に対しておすすめの本を紹介」「話題になったり、アニメに関連する本を勧めたりしたらよいと思う」など、周知をもっと行うとよいという意見がまず出ました。

また、「本を一定数借りたら特典をあげる」「子ども向けのイベントを増やす」など、本を読むことが楽しくなる工夫についてや、「デジタル図書の知名度が低いので宣伝するとよい」「朝読書にタブレットなどを使ってデジタル図書も読めるようになればいい」というようなデジタル図書についての意見も出ていました。

設問（4）の「どうやったら図書館へ子どもたちがもっと行くといいと思いますか」に対しては「図書館でしか行えない事業をやったらよい」「イベントをもっと増やして図書館おこしをしたらよい」「アニメの文庫本やライトノベルのコーナーがあれば行く人も増えるのではないかと思う」など、今後の事業を行ううえで参考になる意見が多数出ていました。

設問（5）の「学校などにおいて読書について何か取り組まれていることはありますか」に対しては「読書集会で児童が全児童の前で読み聞かせを行った。また本に関するクイズなどを行い楽しんでもらった」「図書室に来るとスタンプがもらえる」という活動を実施しているスタンプが3個たまると図書委員が作ったおりがみをもらえる」など多くの事業を紹介していただきました。図書館で類似する事業がない場合は、今後の参考にしていきたいと考えます。